

第3回学校地域協働部会ご報告資料

「学校支援地域本部のこれから」 ～放課後の視点から～

2015年7月2日



平岩 国泰

アフタースクールとは

小学生を対象とした**学校施設を活用した放課後の取り組み**



活動のきっかけ 「子どもたちの放課後を救え！」

男児、屋上から落とされる?



長崎県警
誘拐殺人と断定
十数分間に連れ去りか

長崎県警は、誘拐殺人と断定した。誘拐された男児が、屋上から落とされた。誘拐犯は、男児を連れ去り、屋上から落とされた。誘拐犯は、男児を連れ去り、屋上から落とされた。誘拐犯は、男児を連れ去り、屋上から落とされた。

長崎県警は、誘拐殺人と断定した。誘拐された男児が、屋上から落とされた。誘拐犯は、男児を連れ去り、屋上から落とされた。誘拐犯は、男児を連れ去り、屋上から落とされた。

「活発で人懐っこく」幼少期

「活発で人懐っこく」幼少期。誘拐された男児は、幼少期から活発で人懐っこい性格だった。誘拐犯は、男児を連れ去り、屋上から落とされた。誘拐犯は、男児を連れ去り、屋上から落とされた。

下校時の凶行またも



栃木の小1女児殺害
保護者「どう守れば」
発見現場、自宅から60m

栃木県警は、小1女児殺害事件の保護者を取材した。保護者は「どう守れば」と悩んでいる。発見現場は、自宅から60m離れた場所だった。

不審な男の目撃情報も

不審な男の目撃情報も。保護者は、不審な男を目撃したという。保護者は、不審な男を目撃したという。保護者は、不審な男を目撃したという。保護者は、不審な男を目撃したという。

小1女児下校中殺される 広島空き地段ボールに放置



広島県警は、小1女児殺害事件の捜査を進めている。発見現場は、空き地の段ボールに放置された。発見現場は、空き地の段ボールに放置された。発見現場は、空き地の段ボールに放置された。

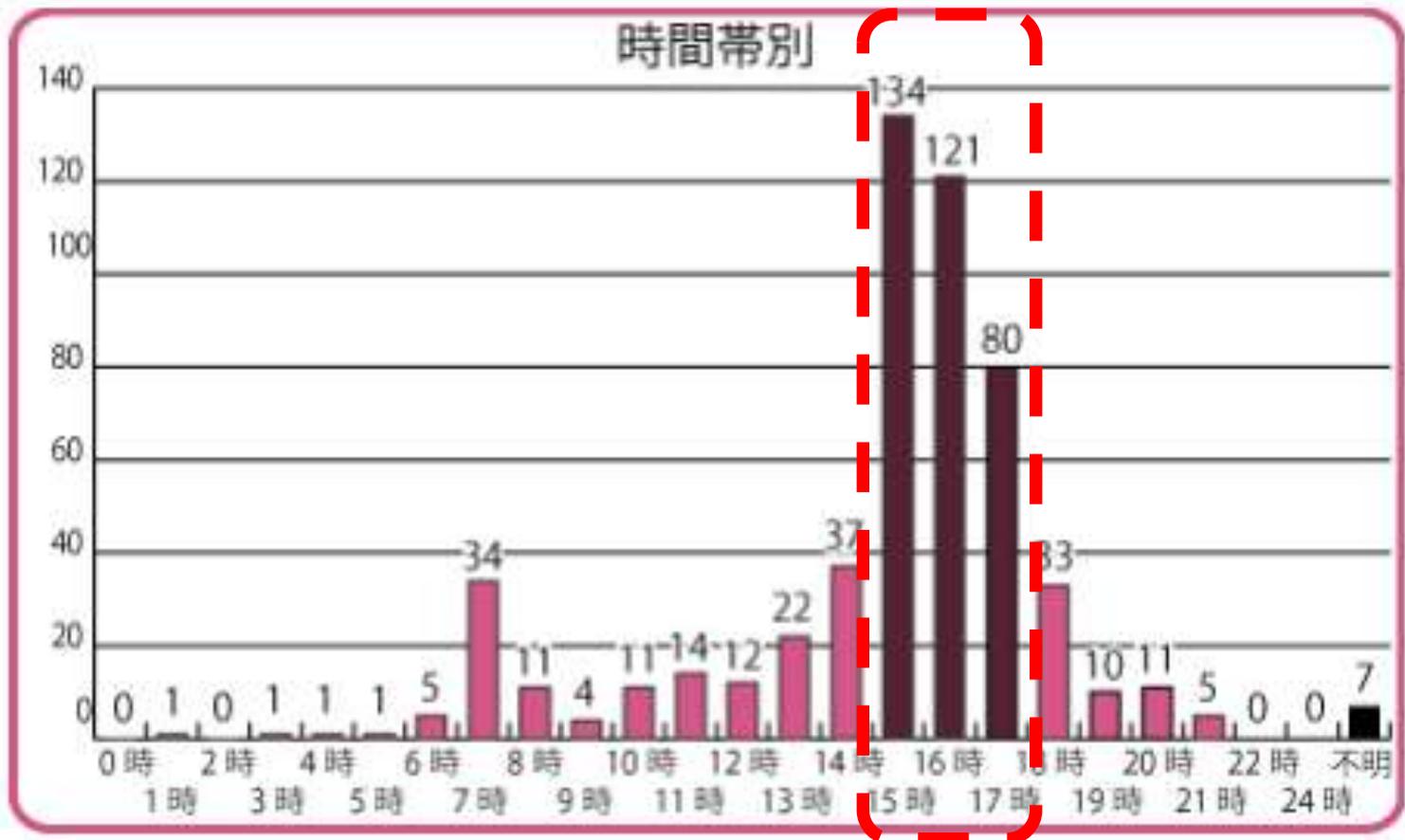
「絵の好きな明るい子」校長が見

「絵の好きな明るい子」校長が見。保護者は、娘が絵が好きで明るい性格だった。保護者は、娘が絵が好きで明るい性格だった。保護者は、娘が絵が好きで明るい性格だった。

(2004年前後の記事)

活動のきっかけ 「子どもたちの放課後を救え！」

「子どもの犯罪の発生時間帯」



「放課後は**魔の時間帯**」

～15-18時に約70%が集中～(出典)千葉県警資料, 2012

解決すべき社会課題

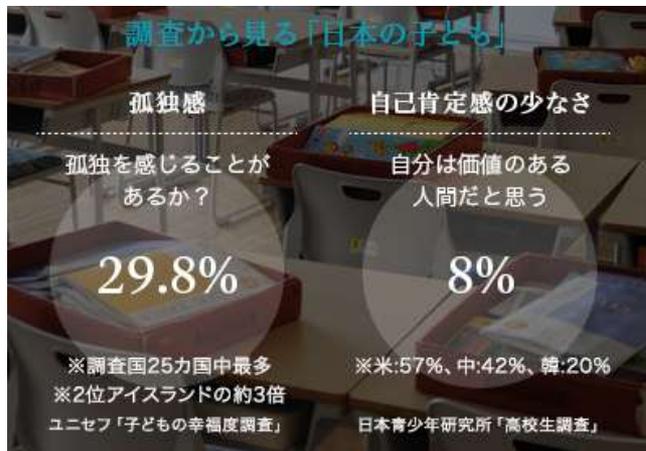
【親】小1の壁

保育園の待機児童問題に続き、
小学校の放課後問題（学童保育不足、全児童対策）が今後ますます課題になります。



【子】体験不足、教育格差

放課後の**3つの間（時間、空間、仲間）**
がなくなり、子どもたちの
自己肯定感が極めて下がっています。



【地域】無縁社会

「地域で子どもを育てる」こともなくなり、
公園には子どもがいません。
公園で遊ぶと「騒音だ!」と訴える**市民**がいます。



アフタースクールの3つの特徴

①学校で開催



学校の先生のご負担は増やさずに運営いたします

高学年の参加率が高いことが特徴です！

日本一のプログラム数とされています

②全員受け入れ



③市民先生のプログラム



- **一体型**（放課後子供教室+学童保育）
 - **単体**（放課後子供教室）
- いずれも運営可能です

活動テーマ

「TVゲームより楽しく、学習塾より学べる放課後を！」



Photo by Natsuki Yasuda / studio AFTERMODE

市民先生：地域の市民が放課後の先生になります！

～今までに**2千人以上**の**市民先生**を生み出しました～



企業や地域全体も巻き込みます！



企業の理科実験



児童館との連携



市内の大学
を親子で訪問



地元店との活動
(例:パン作り)



商店街との連携



音楽ホールとの活動

プログラムづくりにおいて心がけていること



主役

全ての工程をなるべく子どもたちに任せる
(例) 建築、巨大迷路作り

本物

可能な限り本物に近いことをする
(例) だがしや、裁判

設計

継続 × 発表 最後に発表の場を作る
(例) 子どもレストラン

活動の効果

アフタースクールは、**子どもも親も地域も元気にします！**

活動の効果をはかるアンケート結果



子ども

(アフタースクールがあることで)

- ① 学校が楽しみになった : 31%
- ② 友人関係が深まった : 23%
- ③ 夢中の体験が出来る : 16%
- ④ 家庭での発言が増える : 9%



親

(アフタースクールがあることで)

- ① 仕事が安心して出来る : 24%
- ② 学校が魅力的になった : 21%
- ③ 親子の会話が増えた : 14%
- ④ 仕事を新たに始めた : 14%

地域

(アフタースクールに
参加して)

- ・ 子どもから元気をもらった！
- ・ また参加したい



【考 察】

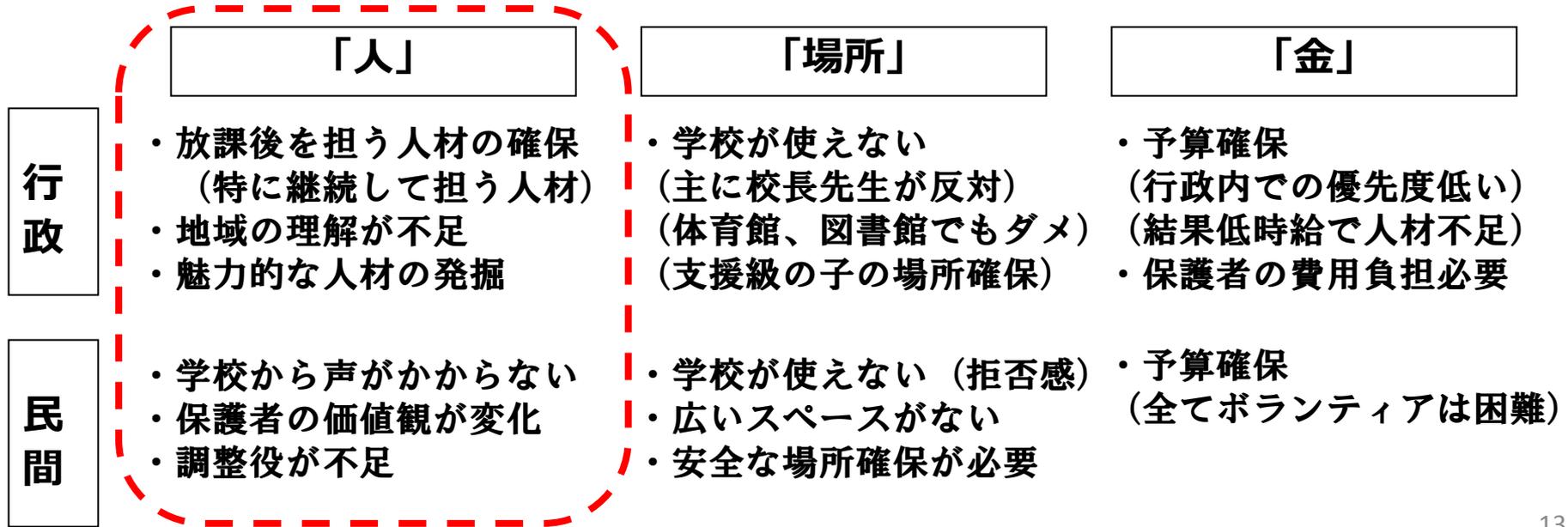
- **学校と地域が連携した放課後の取組を進める上での課題**
- **コーディネーターに求められる役割と人材育成・確保等**
- **これからの学校支援地域本部に求められること**

学校と地域が連携した放課後の取組を進める上での課題



2015年6月
「小学生の放課後をもっと豊かに！セミナー」

- ・自治体、民間合わせて50人が参加
- ・当日ディスカッションテーマ
「子どもたちのための放課後を実現する上での課題」



調整役(コーディネーター)が不足し、ミスマッチが発生

コーディネーターに求められる役割と人材育成・確保等



「社会で子どもを育てる」

- ・小学生（低学年）授業：1200時間 放課後等：1600時間

「子どもが社会を育てる」

- ・「みんなで子どもを育てる」という旗印が絆を作る
(コミュニティ作りは、平時に明るいテーマで)

コーディネーターに求められる役割と人材育成・確保等



良いコーディネーターの要件

F

フットワーク

B

バランス

I

IT

×

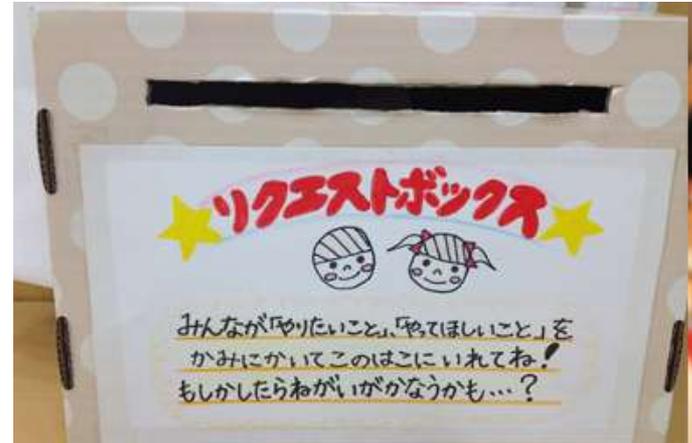
コミュニケーション

最有力候補は、『家庭にいる優秀な女性』

地域を巻き込んだ活動をするには？

子どもたちの声を叶える活動を行う

「リクエストボックス」



【事例①】 お母さんになりたい (小学2年女子)

【事例②】 宝探しがしたい (小学1年男子)

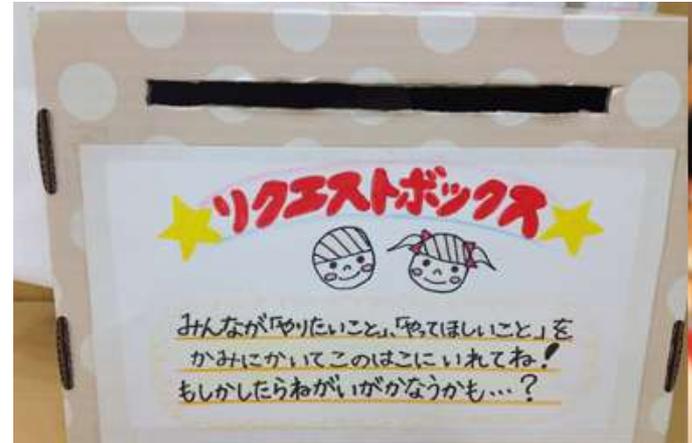
【事例③】 お化け屋敷が作りたい (小学4年男子)

【事例④】 お店を出してみたい (小学6年男子)

地域を巻き込んだ活動をするには？

「子どもたちの声を叶える」ことの利点

「リクエストボックス」



- ①子どもが前向きに取り組む
- ②計画から実行まで話し合うところに学びがある
- ③採用された子どもの自己肯定感があがる
- ④大人が巻き込みやすくなる

これからの学校支援地域本部に求められること

【放課後子供教室の課題】

マンネリ化

…活動やメンバーがマンネリ化してしまい縮小

卒業問題

…熱心に動いていた方が子どもと共に卒業

ミスマッチ

…地域の参画意欲をいかしきれない状態

【放課後子供教室活性化の事例】

運営委員会をPTA他と放課後NPOで結成し、共同運営（23区公立小学校の事例）



放課後で動き出した組織に学校からの各種支援依頼が発生
・ 地域の人材紹介 ・ 総合学習支援 ・ 宿泊補助スタッフ

学校支援地域本部は、「学校と地域をまとめるプロデューサー」

「地域で子どもを育てる」

子どもたちの幸せはみんなの願い



